



アジアチャンピオンズトロフィー 【女子】

開催日時 11 月 9 日 (土) 会場 岐阜県グリーンスタジアム 天候 晴れ

【全試合結果】

第1試合 3位決定戦 12:30	マレーシア	3	$\begin{pmatrix} 1 - 1 \\ 2 - 0 \end{pmatrix}$	1	中国
第2試合 決勝戦 15:00	日本	1	$\begin{pmatrix} 1 - 0 \\ 0 - 0 \end{pmatrix}$	0	インド

【各試合の結果・詳細】

第1試合

マレーシア 3 $\begin{pmatrix} 1 & -1 \\ 2 & -0 \end{pmatrix}$ 1 中国

<得点>

マレーシア : 28分 43分 #23Rabiatul Adawiyah bt Mohamed
67分 #5Noor Hasliza bt Md Ali
中国 : 24分 #19 GU BINGFENG

<戦評>

マレーシアのセンターパスにより前半戦が開始された。序盤から中国優位に試合は進む。7分、マレーシアは#19Fazilla bt Sylvester Silinがパスカットし、速攻を仕掛ける。右サイドからボールを打ち込み、#23Rabiatul Adawiyah bt Mohamedがゴール前へパスを出す。上手く合わせる事が出来ず、得点には繋がらない。対する中国は、13分、#15HAO WEIJIAが左サイドからドリブルでサークルイン。プッシュでシュートするも、マレーシア#6Raja Norshahrina bt Raja ShabuddinにGKの裏で止められ、決定的なチャンスを逃す。24分、中国はPCを取得。#19GU BINGFENGがドラッグシュートを放つと、GKに当たるも、そのまま得点。先制点を挙げる。追い付きたいマレーシアは28分、PCを取得。#13Nuraini bt Abdul Rashidが左サイドの#23 Rabiatul Adawiyah bt Mohamedに合わせると、リバースでタッチシュートをし、得点。同点に追い付く。1-1のまま、前半戦を折り返した。
後半に入り、マレーシアがペースを掴み始める。41分、PCを取得すると、#14Nabia bt Abdul Rahmanが右サイドヘドラッグで押し込む。#19 Fazilla bt Sylvester Silinがタッチシュートするも、中国のDFが反応し、ファインセーブ。得点には至らない。しかし43分、マレーシアは#14Nadia bt Abdul Rahmanがサークルトップの#23 Rabiatul Adawiyah bt Mohamedへパス。ゴール正面からヒットシュートで得点。2点目を挙げ、マレーシアがリードする。さらに67分、マレーシアはPCを取得。#5Noor Hasliza bt Md Aliがリバースヒットでシュートを放つ。GKの足に当たるも、得点。3点目を挙げる。3-1で試合は終了し、マレーシアが勝利した。
この結果、マレーシアが3位、中国が4位となった。

テクニカルオフィサー	Naomi Kato(JPN)	アンパイア	Suman Chumbak(IND)
ジャッジ	Anjali(IND)		Yumiko Yasuoka(JPN)
	Michiyo Imajo(JPN)		

第2試合

日本 1 $\begin{pmatrix} 1 & -0 \\ 0 & -0 \end{pmatrix}$ 0 インド

<得点>

日本 : 2分 #10 新井
インド :

<戦評>

日本のセンターパスにより前半戦が開始された。開始早々2分、日本がPCを取得。バリエーションから#20及川がゴール前へ走り込んできた#10新井へ合わせると、華麗なタッチシュートを決め、先制点を挙げる。対するインドも7分、8分、9分と立て続けにPCを取得。#3DEEPA GRACE EKKAがスィープヒットでゴールを狙うが、日本DF陣の体を張った守備により、得点することが出来ない。日本は組織的な守備でボールを奪うと、丁寧にパスを繋ぎ、相手陣内へ攻め込む。20分、右サイドのセンターライン付近から、#4小野がサークル内へとロングボールを送る。#15永井友理が走り込み、リバースでタッチシュートを狙うも、惜しくもボールはゴールを外れ、追加点とはならない。日本は25分、26分にもPCを取得するが、インドも懸命な粘りを見せ、1-0で前半戦を折り返した。
後半に入り、両者一歩も譲らない攻防を繰り広げる。インドは徹底した守備からカウンターを狙うが、日本の激しいプレッシャーにより、シュートチャンスを得ることが出来ない。日本は、細かいパスと個人技を活かし、50分PCを取得。#4小野が豪快にヒットシュートを放つも、インドGKに阻まれ得点には至らない。63分、日本#4小野が相手の隙を突き、サークルトップの#10新井へロングボールを送る。放ったヒットシュートに、#9三橋が反応しタッチするも、得点には至らない。同点に追い付きたいインドは、65分PCを取得。#28RANIがゴール前の#17DEEP IKAへスィープで合わせ、タッチするが決めきることが出来ない。このまま試合は終了し、1-0で日本が勝利した。
この結果、日本が初優勝、インドが第2位となった。

テクニカルオフィサー	etsuda Chianthianthong(THA)	アンパイア	Kang Hyun Young(KOR)
ジャッジ	Alfed Chan(HKG)		Nurfahziah(MAS)
	Yao Hongjun(CHN)		

明日の組み合わせ【男子】

第1試合 10:00	インド	vs	オマーン
第2試合 12:30	中国	vs	マレーシア
第3試合 15:00	パキスタン	vs	日本
17:00	表彰式(男子)		

女子最終順位

第1位	日本	初優勝
第2位	インド	
第3位	マレーシア	
第4位	中国	

得点王	#10 新井 麻月(日本) 5点
ゴールキーパー賞	#13 ラージアニ エティアーブ(インド)
最優秀選手賞	#22 柴田 あかね(日本)
フェアプレー賞	インド